

第10号議案 平成30年度長崎市観光施設事業特別会計予算

【目次】

	資料頁	予算説明書頁
[グラバー園費]		
1 グラバー園入園者数	1	
2 グラバー園入園者数推移	2	
3 事項別内訳表（グラバー園）	3	
4 グラバー園管理費		
・グラバー園運営費	4	20～21
・旧グラバー住宅見学施設設置費	5～7	20～21
5 【補助】耐震化推進事業費		
・旧ウォーカー住宅	8～10	20～21
6 【単独】グラバー園施設整備事業費		
・エスカレータ改修	11～12	20～21
[ロープウェイ費]		
7 ロープウェイ利用者数	13	
8 ロープウェイ等利用者数推移	14	
9 事項別内訳表（ロープウェイ）	15	
10 ロープウェイ事業管理費		
・ロープウェイ事業運営費	16	22～23
・夜景観光推進事業共催費負担金	17～18	22～23
11 【単独】ロープウェイ施設整備事業費		
・ロープウェイ設備整備	19～21	22～23、32～33

1 グラバー園入園者数

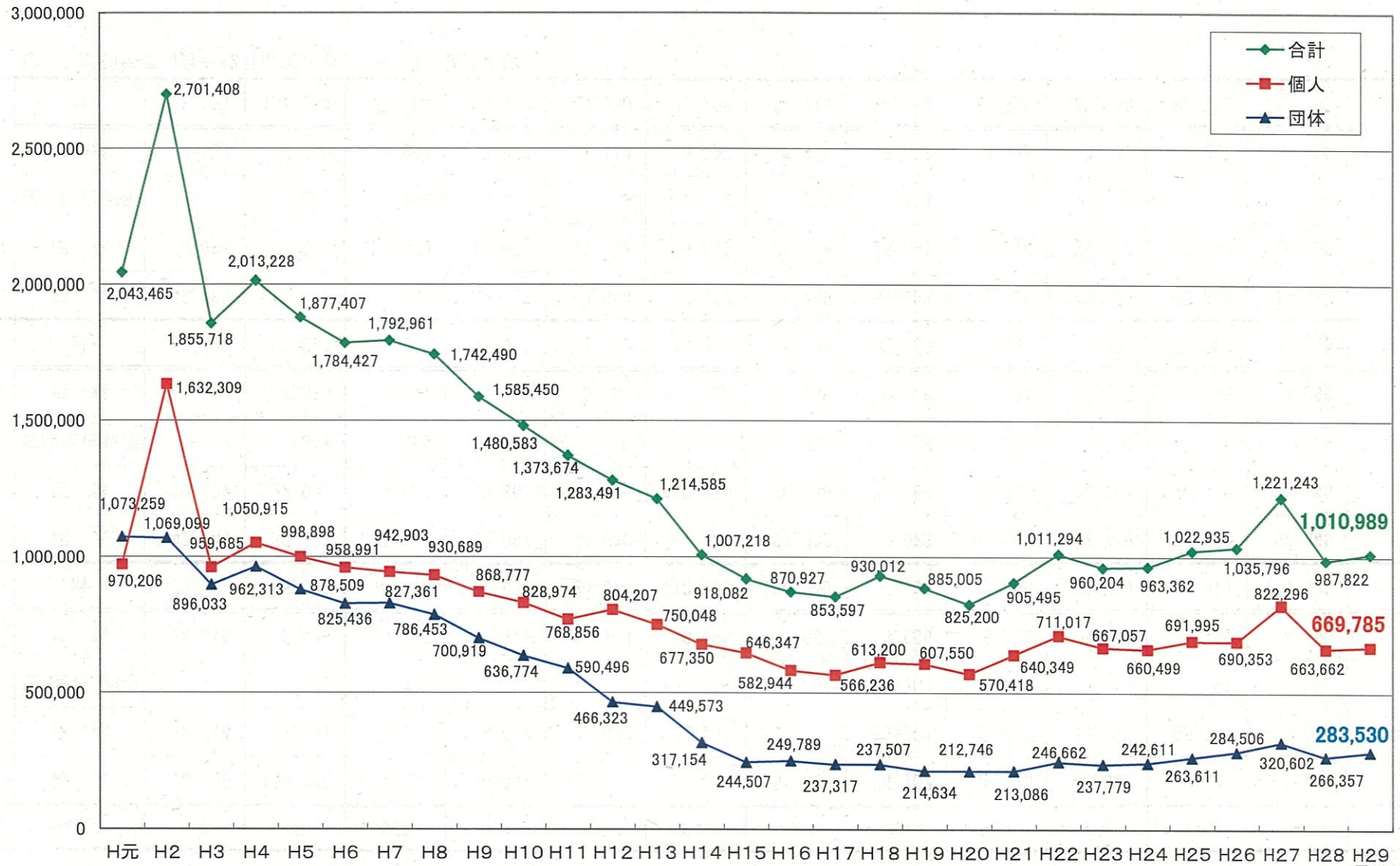
【単位：人】

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成27年度	個人	50,409	100,138	44,203	54,041	89,343	80,393	86,621	74,202	59,470	40,500	65,772	77,204	822,296
	団体	22,714	37,171	25,142	19,662	22,826	27,291	35,076	36,229	24,913	14,777	25,727	29,074	320,602
	夜間独占利用	-	299	-	-	-	-	1,601	709	-	-	792	252	3,653
	無料	4,416	8,475	4,718	7,321	12,704	5,799	7,667	5,855	5,285	3,442	4,120	4,890	74,692
	計	77,539	146,083	74,063	81,024	124,873	113,483	130,965	116,995	89,668	58,719	96,411	111,420	1,221,243
平成28年度	個人	42,946	53,923	32,142	42,087	74,648	61,800	67,982	63,928	57,241	42,766	54,354	69,845	663,662
	団体	20,639	22,001	14,651	13,663	17,555	32,050	28,669	31,168	23,739	15,503	20,770	25,949	266,357
	夜間独占利用	-	341	59	-	-	-	502	638	307	-	-	-	1,847
	無料	3,913	4,825	3,417	4,166	5,737	5,490	5,709	6,626	4,534	3,667	3,776	4,096	55,956
	計	67,498	81,090	50,269	59,916	97,940	99,340	102,862	102,360	85,821	61,936	78,900	99,890	987,822
平成29年度	個人	49,485	86,295	40,993	39,718	63,654	47,952	62,789	59,388	48,630	43,769	55,629	71,483	669,785
	団体	23,799	37,958	24,680	17,662	21,962	19,049	25,834	28,591	20,314	15,867	21,257	26,558	283,530
	夜間独占利用	-	281	188	-	-	-	762	633	-	-	-	-	1,864
	無料	4,837	7,330	3,893	3,446	4,114	4,297	5,329	6,376	4,378	3,753	3,865	4,192	55,810
	※1 計	78,121	131,864	69,754	60,826	89,730	71,298	94,714	94,988	73,322	63,389	80,750	102,233	1,010,989

※1 平成29年度 4月～12月は実績値。1月～3月は見込値。

2 グラバー園入園者数推移

【単位：人】



※「合計」は「個人」「団体」「夜間独占利用」「無料」の総数

【単位：年度】

3 事項別内訳表(グラバー園)

(単位:千円)

入				出			
事項名	30年度 当初予算額 ①	29年度 当初予算額 ②	差引増▲減 ①-②	事項名	30年度 当初予算額 ①	29年度 当初予算額 ②	差引増▲減 ①-②
1 使用料及び手数料	1,351	1,288	63	1 グラバー園費	284,368	304,059	▲19,691
1 休憩所使用料	1,281	1,278	3	1 グラバー園事業費	170,150	176,610	▲6,460
2 土地使用料	70	10	60	1 グラバー園管理費	170,150	176,610	▲6,460
2 国庫支出金	16,750	29,241	▲12,491	1 職員給与費	17,901	17,374	527
1 国庫補助金	16,750	29,241	▲12,491	2 資料保存整備費	88	88	-
3 財産収入	1,141	1,309	▲168	3 グラバー園運営費	24,219	15,099	9,120
1 財産運用収入	1,141	1,309	▲168	4 グラバー顕彰式開催費	356	342	14
4 繰入金	11,450	19,759	▲8,309	5 旧グラバー住宅見学施設設置費	37,000	-	37,000
1 観光施設整備基金繰入金	11,450	19,759	▲8,309	(経常経費小計: 1~5)	79,564	32,903	46,661
5 繰越金	1	1	-	6 観光施設整備基金積立金	42,786	71,207	▲28,421
1 繰越金	1	1	-	7 耐震化推進事業費	33,900	58,800	▲24,900
6 諸収入	252,975	247,661	5,314	(1) 旧ウォーカー住宅	33,900	-	33,900
1 グラバー園利用料金受入金	252,975	247,661	5,314	(-) 旧スタイル記念学校	-	58,800	▲58,800
7 市債	5,700	9,800	▲4,100	8 グラバー園施設整備事業費	13,900	13,700	200
1 グラバー園管理債	5,700	9,800	▲4,100	(1) エスカレータ改修	13,900	13,700	200
				(投資的経費小計: 7~8)	47,800	72,500	▲24,700
				2 公債費	72,574	57,552	15,022
				1 元金	70,299	54,241	16,058
				2 利子	2,275	3,311	▲1,036
				3 繰出金	41,644	69,897	▲28,253
				2 予備費	5,000	5,000	-
特定財源計	289,368	309,059	▲19,691	特定財源計	289,368	309,059	▲19,691
一般財源計	-	-	-	一般財源計	-	-	-
合計	289,368	309,059	▲19,691	合計	289,368	309,059	▲19,691

収支差引: -

4 グラバー園管理費

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
20 ～ 21	1 グラバー園 費	1 グラバー園 事業費	1 グラバー園 管理費	2-2	グラバー園運営費	千円 24,219

1 概要

施設の適正な管理運営及び利用者に対するサービスの提供等を行うため、長崎市が支払う経費に関するもの。

2 事業内容

事項	予算額（千円）
需用費（修繕料）	5,000
役務費（保険料、健康診断手数料）	430
委託料（案内板設置撤去委託料）	1,000
負担金、補助及び交付金（電子計算費負担金等）	129
公課費（消費税及び地方消費税）	17,660
合計	24,219

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 24,219	千円 —	千円 —	千円 —	千円 24,219	千円 —

※ 休憩所使用料(1,281千円)、土地使用料(70千円)、
グラバー園利用料金受入金(22,868千円)

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

本市を代表する観光施設であるグラバー園の適正な維持管理、運営を行い、利用者に対してよりよいサービスを提供する必要がある。

(2) 効果

施設の適正な管理運営が図られることで、利用者の利便性及び満足度向上につながる。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
20 ～ 21	1 グラバー園 費	1 グラバー園 事業費	1 グラバー園 管理費	2-4	旧グラバー住宅 見学施設設置費	千円 37,000

1 概要

旧グラバー住宅は世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産のひとつで、グラバー園内で最も注目が高い建物であるが、同住宅の耐震補強工事を含む保存修理工事期間中、来園者は同住宅付近への立ち入りができず、施設の見学ができないため、工事期間中でもできるだけ同住宅の外観や工事の様子等が見学できるように、仮設の見学用デッキを設けるもの。

2 事業内容

(1) 設置期間 平成30年度から平成32年度まで

(2) 工事予定期間 平成30年度（設計）平成30年5月～平成30年8月中旬
（設置工事）平成30年9月中旬～平成31年1月

※旧グラバー住宅の工事開始前に供用開始予定。

旧グラバー住宅工事期間（予定）平成31年1月～平成32年11月
平成32年度（解体）平成32年12月～平成33年3月下旬

(3) 事業費（平成30年度分）

事項	予算額（千円）
見学用デッキ実施設計委託	3,990
見学用デッキ設置工事	33,000
その他（印刷製本費）	10
合計	37,000

(4) 見学用デッキの構造

設置場所：旧グラバー住宅南側

構造・形状：鉄骨造、高さ3.8m×長さ20.0m

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 37,000	千円 —	千円 —	千円 —	千円 37,000	千円 —

※グラバー園利用料金受入金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

平成30年度から32年度までにかけて行う旧グラバー住宅の耐震補強工事を含ま保存修理工事にあわせて、来園者の受け入れ対策を行う必要がある。

(2) 効果

仮設の見学用デッキを設けることで、工事期間中も旧グラバー住宅の外観や工事の様子を見ることができる。

5 園内配置図



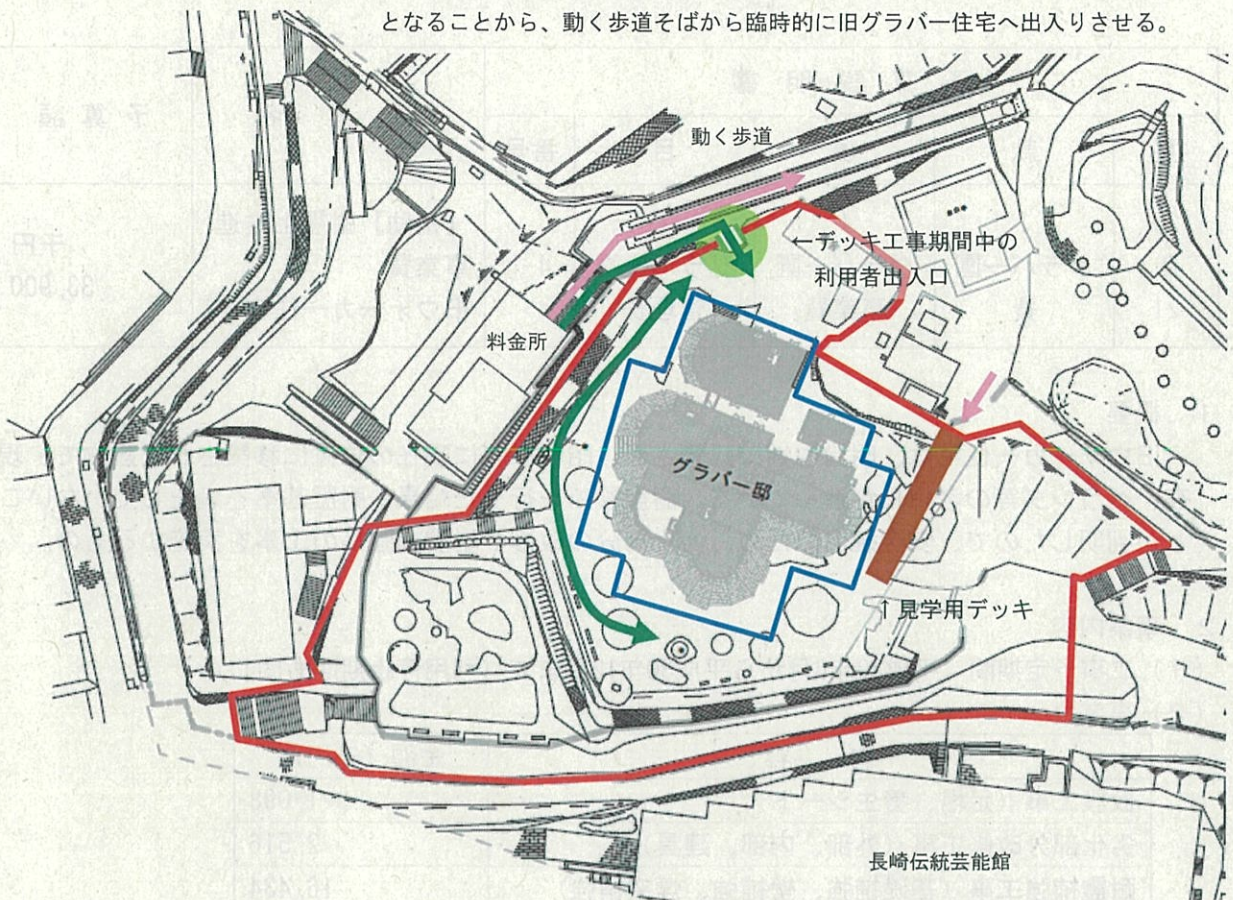
旧グラバー住宅



文久3年（1863年）築
木造、棧瓦葺、平屋建
延床面積：510.8㎡

6 配置図等

見学用デッキの工事期間中は、旧グラバー住宅への通常の利用者動線が通行止めとなることから、動く歩道そばから臨時的に旧グラバー住宅へ出入りさせる。



- 工事範囲
- 素屋根範囲
- デッキ工事期間中の利用者動線
- 通常の利用者動線
- 見学用デッキ

7 デッキ想定立面イメージ図



5 【補助】耐震化推進事業費

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
20 ～ 21	1 グラバー園 費	1 グラバー園 事業費	1 グラバー園 管理費	4-1	【補助】耐震化推進 事業費 旧ウォーカー住宅	千円 33,900

1 概要

旧ウォーカー住宅は、明治中期に建築され、昭和49年に現在の位置に移築された建物で、現在、ベランダ等の老朽化が進んでいる。耐震診断を行った結果、耐震基準を満たしていないことが判明したので、安全確保のため、劣化部分の改修や耐震補強等の工事を実施するもの。

2 事業内容

(1) 工事予定期間 平成30年6月から平成30年12月まで（利用停止期間も同じ）

(2) 事業費

内 容	金額（千円）
仮設工事（足場、養生シート）	1,098
劣化部分改修工事（外部、内部、建具）	2,516
耐震補強工事（基礎補強、壁補強、煙突補強）	16,434
電気設備改修	260
共通経費等（現場管理費、一般管理費等）	13,192
その他（展示品等搬出等）	400
合 計	33,900

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他※3	一般財源
千円 33,900	千円 16,750	千円 -	千円 5,700	千円 11,450	千円 -

※1 観光拠点形成重点支援事業（優良モデル）（伝統的建造物群保存地区基盤強化事業）補助率1/2

※2 公営企業債 充当率100%

※3 観光施設整備基金繰入金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

旧ウォーカー住宅は、グラバー園を訪れる多くの市民や観光客などが利用している建物であるが、耐震基準を満たしていないことから、利用者の安全性を確保するため、耐震補強工事等を行う必要がある。

(2) 効果

耐震化工事を行うことにより、利用者の安全性の確保が図られる。

5 耐震診断結果

上部構造評点	補強前 I w	補強後 I w
	0.4	1.2

⇒ I w 値が1.00以上ならば耐震基準を満たしていると診断される。

上部構造評点とは、大地震時（震度6強から震度7程度）の外力に対して、建物が保有する耐力の安全率を算出した数値を示す。

6 園内配置図



旧ウォーカー住宅



明治中期築（昭和49年移築）
木造平屋建
延床面積：112.25㎡

7 現況写真



(参考) グラバー園内の重要文化財等建造物の保存修理スケジュール

年度	旧三菱第2 ドックハウス	旧スタイル 記念学校	旧ウォーカー 住宅	旧グラバー 住宅	そのほかの 建造物
平成27年度	耐震補強等工 事	耐震診断・設 計		耐震診断	文化庁等との協 議のうえ、保存修 理の方針や財源 の裏付けを確認 した後に、順次、 耐震診断・設計、 保存修理のスケ ジュールを立て 実施していく予 定。
平成28年度	耐震補強等工 事	耐震補強等工 事	耐震診断・設 計	耐震診断	
平成29年度		耐震補強等工 事			
平成30年度			耐震補強等工 事	設計監理業務・ 保存修理工事 (平成32年度 完成予定)	

6 【単独】グラバー園施設整備事業費

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
20 ～ 21	1 グラバー園 費	1 グラバー園 事業費	1 グラバー園 管理費	5-1	【単独】グラバー園 施設整備事業費 エスカレータ改修	千円 13,900

1 概要

グラバー園の利便性、快適性の向上及び利用者の安全性確保を図るため、エスカレータ等の整備・改修を行うもの。

2 事業内容

(1) 工事内容

項 目	内 容	事業費(千円)
エスカレータ及び動く歩道 年次改修工事	エスカレータ(1・2号機)及び動く歩道(1・ 2号機)の年次改修を行うもの。	13,900

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 13,900	千円 —	千円 —	千円 —	千円 13,900	千円 —

※ グラバー園利用料金受入金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

施設の利便性及び快適性の向上と、利用者の安全性を確保するため、施設の改修を行う必要がある。

(2) 効果

グラバー園の利便性及び快適性の向上と、利用者の安全性の確保が図られる。

5 園内配置図



7 ロープウェイ利用者数

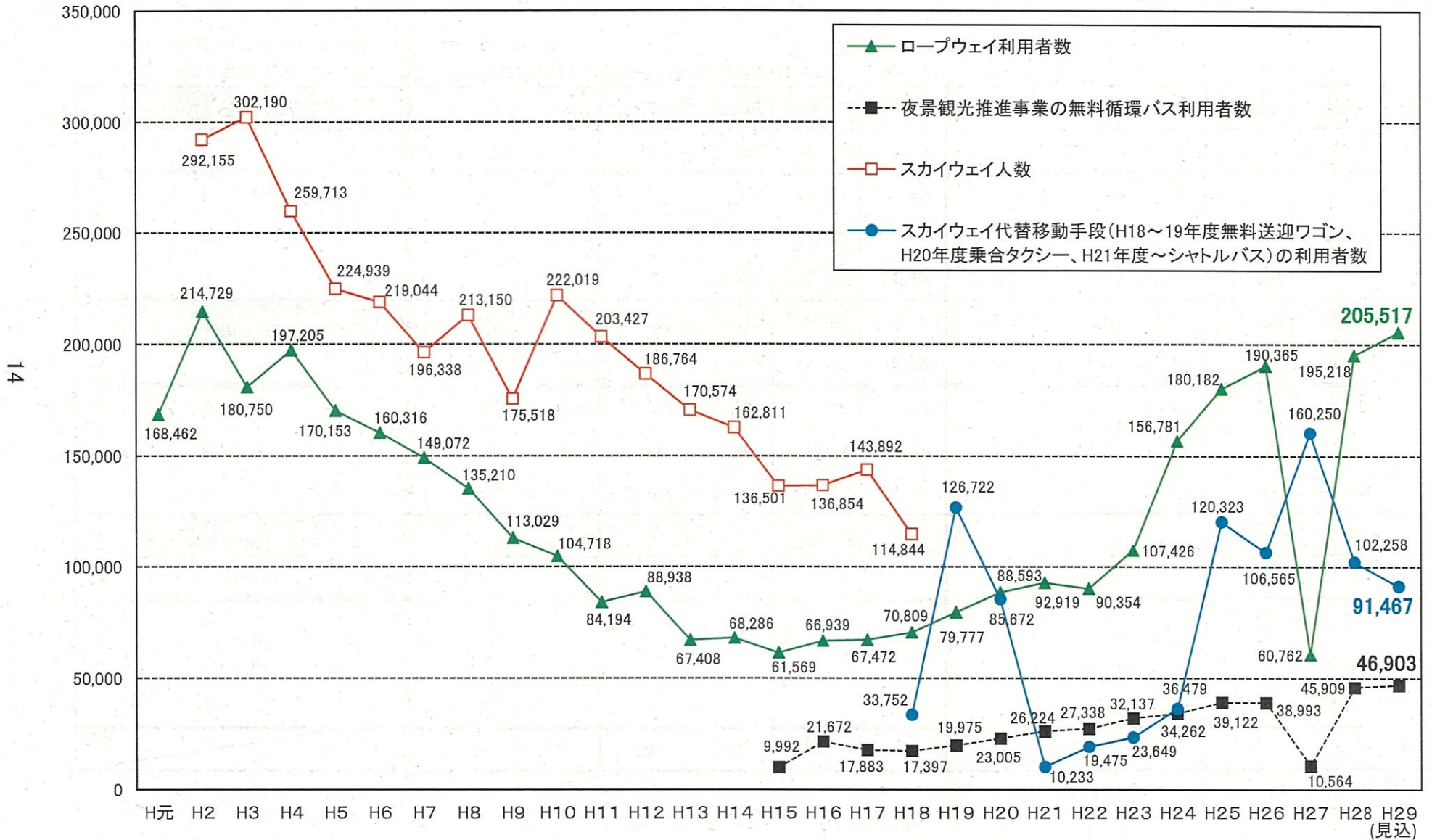
【単位：人】

年度		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成27年度	個人		10,869	5,978	-	-	-	-	-	-	-	-	16,765	20,955	54,567
	団体		1,682	320	-	-	-	-	-	-	-	-	882	2,455	5,339
	無料		261	107	-	-	-	-	-	-	-	-	200	288	856
	計		12,812	6,405	-	-	-	-	-	-	-	-	17,847	23,698	60,762
	※1	うち 無料送迎バス利用 (夜景観光推進事業)		3,009	532	-	-	-	-	-	-	-	-	3,114	3,909
平成28年度	個人		12,968	13,944	7,612	11,374	20,414	13,567	13,671	15,252	12,558	13,951	16,230	20,146	171,687
	団体		977	1,562	1,462	891	1,267	1,643	2,746	2,633	1,862	1,431	743	3,274	20,491
	無料		332	261	162	213	242	136	448	256	187	290	168	345	3,040
	計		14,277	15,767	9,236	12,478	21,923	15,346	16,865	18,141	14,607	15,672	17,141	23,765	195,218
	※1	うち 無料送迎バス利用 (夜景観光推進事業)		3,175	3,122	2,350	3,751	5,010	4,103	3,792	4,041	3,124	3,941	4,374	5,126
平成29年度	個人		13,603	18,918	10,770	13,432	18,627	12,939	14,986	16,045	8,115	11,045	17,086	21,209	176,775
	団体		2,290	2,394	1,636	1,508	1,448	1,157	2,810	3,376	1,199	1,803	782	3,447	23,850
	無料		449	367	211	331	275	262	1,574	423	191	269	177	363	4,892
	計		16,342	21,679	12,617	15,271	20,350	14,358	19,370	19,844	9,505	13,117	18,045	25,019	205,517
	※2	うち 無料送迎バス利用 (夜景観光推進事業)		3,729	4,631	3,503	4,406	4,710	3,712	3,675	3,680	1,918	2,938	4,605	5,396

※1 平成27年度は5月7日～2月5日の間、待合所の改築及び耐震化等工事のため長崎ロープウェイ運休。

※2 平成29年度 4月～1月は実績値。2月～3月は見込値。

8 ロープウェイ等利用者数推移



※「ロープウェイ利用者数」は「個人」「団体」「無料」の総数

【単位:年度】

9 事項別内訳表(ロープウェイ)

(単位:千円)

歳 入				歳 出			
事 項 名	3 0 年 度 当 初 予 算 額 ①	2 9 年 度 当 初 予 算 額 ②	差 引 増 ▲ 減 ①-②	事 項 名	3 0 年 度 当 初 予 算 額 ①	2 9 年 度 当 初 予 算 額 ②	差 引 増 ▲ 減 ①-②
1 使用料及び手数料	282	208	74	1 ロープウェイ費	96,068	139,951	▲43,883
1 建物使用料	282	208	74	1 ロープウェイ事業費	68,897	113,036	▲44,139
2 繰入金	20,800	50,600	▲29,800	1 ロープウェイ事業管理費	68,897	113,036	▲44,139
1 観光施設整備基金繰入金	20,800	50,600	▲29,800	1 ロープウェイ事業運営費	12,187	11,648	539
3 繰越金	1	1	-	2 夜景観光推進事業共催費負担金	23,202	23,567	▲365
1 繰越金	1	1	-	(経常経費小計: 1 ~ 2)	35,389	35,215	174
4 諸収入	65,585	64,942	643	3 観光施設整備基金積立金	2,308	2,021	287
1 ロープウェイ利用料金受入金	65,435	64,754	681	4 ロープウェイ施設整備事業費	31,200	75,800	▲44,600
2 ロープウェイ電気使用料負担金	150	188	▲38	(1) ロープウェイ設備整備	31,200	73,400	▲42,200
5 市債	10,400	25,200	▲14,800	(-) 誘導照明等設備整備	-	2,400	▲2,400
1 ロープウェイ事業管理債	10,400	25,200	▲14,800	(投資的経費小計: 4)	31,200	75,800	▲44,600
				2 公債費	24,864	24,895	▲31
				1 元金	23,672	22,602	1,070
				2 利子	1,192	2,293	▲1,101
				3 繰出金	2,307	2,020	287
				2 予備費	1,000	1,000	-
特定財源計	97,068	140,951	▲43,883	特定財源計	97,068	140,951	▲43,883
一般財源計	-	-	-	一般財源計	-	-	-
合計	97,068	140,951	▲43,883	合計	97,068	140,951	▲43,883

収支差引:

-

10 ロープウェイ事業管理費

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
22 ↳ 23	2 ロープウェイ 費	1 ロープウェイ 事業費	1 ロープウェイ 事業管理費	1-1	ロープウェイ 事業運営費	千円 12,187

1 概要

長崎ロープウェイに係る安全輸送の確保及び適正な施設運営を行うため、長崎市が支払う経費に関するもの。

2 事業内容

事項	予算額（千円）
報酬（索道技術管理者1人）	60
需用費（修繕料）	1,000
役務費（保険料）	214
使用料及び賃借料（淵神社駅舎等土地借上料）	10,763
その他（旅費、除草等委託料）	150
合計	12,187

3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 12,187	千円 —	千円 —	千円 —	千円 12,187	千円 —

※ 建物使用料（282千円）、電気使用料負担金（150千円）、
ロープウェイ利用料金受入金（11,755千円）

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

稲佐山への主要な交通手段である長崎ロープウェイの適正な維持管理、運営を行い、利用者に対して安全運行を提供する必要がある。

(2) 効果

施設の適正な維持管理が図られることで、安全運行を継続することができ、利用者の利便性及び満足度向上につながる。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
22 } 23	2 ロープウェイ 費	1 ロープウェイ 事業費	1 ロープウェイ 事業管理費	1-2	夜景観光推進事業 共催費負担金	千円 23,202

1 概要

市内宿泊施設等からロープウェイ淵神社駅まで、観光客等を循環バスにより無料送迎する「夜景観光推進事業」を実施している夜景観光推進実行委員会へ負担金を支出することにより、稲佐山からの夜景を気軽に眺望できる機会を創出し、ロープウェイ利用者の増加を図るもの。

2 事業内容

- (1) 実施主体 夜景観光推進実行委員会（事務局：一般財団法人長崎ロープウェイ・水族館）
- (2) 運行方法等 大型バスによる送迎（1日4便 ※次ページ参照）
- (3) 収支計画

収入（千円）			支出（千円）	
負担金等	長崎市	23,202	バス借上料	25,089
	（一財）長崎ロープウェイ・水族館	1,300	広告宣伝費	211
	市内宿泊施設（5社）	1,000	印刷費	57
雑収入（預金利息）		1	警備委託料	75
			会議費	20
			通信費	1
			諸雑費	50
合計		25,503	合計	25,503

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 ※	一般財源
千円 23,202	千円 —	千円 —	千円 —	千円 23,202	千円 —

※ ロープウェイ利用料金受入金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

観光客に対して稲佐山からの夜景を気軽に眺望できる機会を創出する必要がある。

(2) 効果

ロープウェイの利用者増が図られ、宿泊・滞在型観光の推進につながる。

5 無料送迎サービスルート図及び時刻表

(1) ルート図



(2) 往路時刻表

往路	ホテル ベルビュー 長崎出島	ホテル モントレ 長崎	ANA クラウンプラザホテル 長崎グラバーヒル	ホテル ニュー長崎	JR 長崎駅内 バス停	ザ・ホテル長崎 BW プレミア コレクション	長崎ロープウェイ 湊神社駅
1便	19:00発	19:05発	19:08発	19:15発	19:17発	19:20発	19:25着
2便	19:30発	19:35発	19:38発	19:45発	19:47発	19:50発	19:55着
3便	20:00発	20:05発	20:08発	20:15発	20:17発	20:20発	20:25着
4便	20:30発	20:35発	20:38発	20:45発	20:47発	20:50発	20:55着

(3) 復路時刻表

復路	長崎ロープウェイ 湊神社駅	ホテル ニュー長崎	JR 長崎駅内 バス停	ザ・ホテル長崎 BW プレミア コレクション	ホテル ベルビュー 長崎出島	ホテル モントレ 長崎	ANA クラウンプラザホテル 長崎グラバーヒル
1便	20:30発	20:37着	20:39着	20:42着	20:50着	20:55着	20:58着
2便	21:00発	21:07着	21:09着	21:12着	21:20着	21:25着	21:28着
3便	21:30発	21:37着	21:39着	21:42着	21:50着	21:55着	21:58着
4便	22:10発	22:17着	22:19着	22:22着	22:30着	22:35着	22:38着

11 【単独】ロープウェイ施設整備事業費

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
頁	款	項	目	番号		
22 ～ 23	2 ロープウェイ 費	1 ロープウェイ 事業費	1 ロープウェイ 事業管理費	3-1	【単独】ロープウェイ施設整備事業費 ロープウェイ設備整備	千円 31,200

1 概要

ロープウェイ設備の適正な維持管理により利用者の安全性を確保するため、老朽化した設備の改修を行うもの。

2 事業内容

(1) 工事内容

項目	内容	事業費(千円)
受索輪ゴムライナー更新工事	索条の劣化を防いだり、ゴンドラ走行時の振動や騒音を低減したりする受索輪のゴムライナーの更新工事を行う。	7,150
減速機更新工事	ゴンドラを動かすための動力を効率的・効果的に伝達する減速機の更新工事を行う。	15,100
主制御盤・補助制御盤等更新工事	ロープウェイの運行管理を行う制御盤の更新工事を行う。	6,720
無停電電源装置更新工事	停電時等に電力を供給する電源装置の更新工事を行う。	2,230

(2) 工事予定期間

平成30年4月から平成30年12月まで

※製造は工場で行い、取り換えは12月の定期整備期間中に実施予定。

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債 ※1	その他 ※2	一般財源
千円 31,200	千円 —	千円 —	千円 10,400	千円 20,800	千円 —

※1 公営企業債 充当率100%

※2 観光施設整備基金繰入金

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

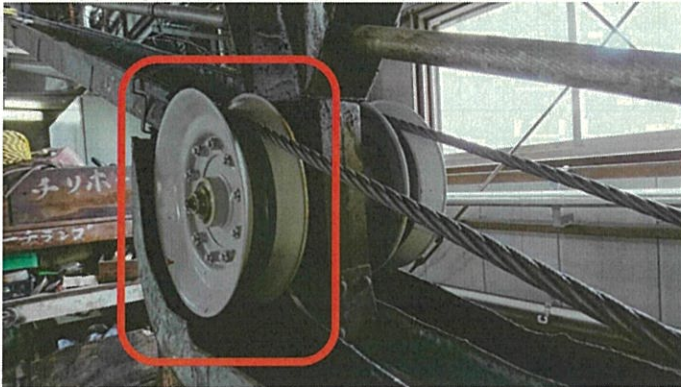
適正な施設管理により利用者の安全性を確保するため、更新工事等を行う必要がある。

(2) 効果

ロープウェイ施設の適正な維持管理及び利用者の安全性の確保が図られる。

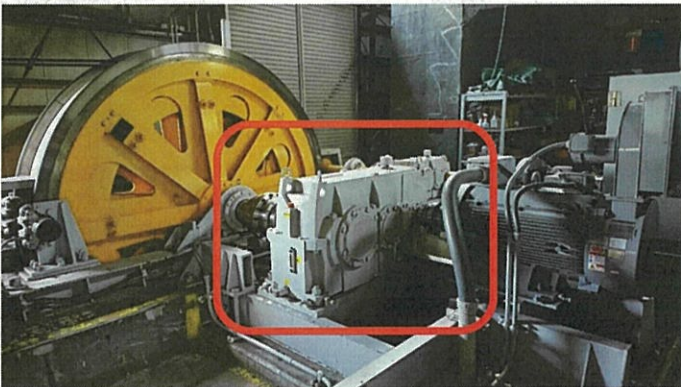
5 設備更新箇所

(1) 受索輪ゴムライナー (62カ所)



赤枠部分が受索輪
溝にある黒色部分がゴムライナー

(2) 減速機



赤枠部分が減速機

(3) 主制御盤・補助制御盤



(4) 無停電電源装置



債務負担行為		期 間	限度額
予算説明書頁	事 項		
32 ~ 33	ロープウェイ設備整備事業	平成30年度から 平成31年度まで	千円 31,500

1 債務負担行為の目的

老朽化したロープウェイ設備の整備工事にあたり、利用者の閑散期となる平成31年6月に約2週間運休止、現場作業を予定しているが、整備工事の履行期間が2カ年にまたがるため、債務負担行為を設定するもの。

2 整備内容・スケジュール（予定）

(1) 設備整備内容 予備エンジン更新工事、制動機更新工事、原動・遊動滑車等ゴムブロック更新工事

(2) スケジュール

年度	内容
平成30年10月～平成31年5月（約8カ月）	設備製造
平成31年6月（約2週間）	現場作業

3 債務負担行為限度額の内訳

(1) 限度額の年度内訳

年度	工事内容	金額
平成30年度	契約、設備製造	0千円
平成31年度	設備製造、現場作業	31,500千円
合 計		31,500千円

4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
千円 31,500	千円 —	千円 —	千円 10,500	千円 21,000	千円 —

※1 公営企業債 充当率 100%

※2 観光施設整備基金繰入金